

みなさん、こんにちは。あさの、けんいちです。
鈴木エイトさんには、9月25日、たんぼぼ舎の講座に来ていただきました。今日もこうして、2回目の講演をしていただきました。
エイトさん、本当にありがとうございます。

私は2年半前、かいんとうがんで、いんとう・こうとう を全摘する手術を受け、声帯をなくしました。しかし、それから、「無声ジャーナリスト」、つまり、声をうしなったジャーナリストとして、こうして活動を続けています。

手術から2年半がたち、最近、今、みなさんが聞いているこの声をつかった、エーアイのイチローさんの音声や、電気式のこうとう を使った講演もしています。

せんじつ、私のふるさとである、たかまつしでの講演を、せとないかい放送がニュースで取り上げてくれました。

朝日新聞も県版で記事にしてくれました。

私は、ジャーナリストにとって最も大切なことは、少数しゃなどの、声なき声を代弁することだと 思ってきました。今、私自身が障害者となり、改めてその重要性を認識しています。

それでは、講演に、はいります。

岸田ふみお首相は、昨年10月のしゅういんせん、今年7月の参院選で圧勝し、「おうごんの3年」を迎えるはずでしたが、安倍し「こくそうぎ」を強行し、自民党の大多数の議員が統一協会と関係していたことが判明し、各社の世論調査で支持率は30%ぜんごで、全社で、不支持が支持を上回る、ききてきなじょうきょうです。

北海道てれび放送は、7月27日、2016年の、自民党の参院選で、宮島よしふみしのために、あべしが、統一協会の票をサハイしたことをスクープしました。その後、あべしは、2021年の参院選では、とういつきょうかいのひょうを、そっきんの井上義行しに回し、当選させています。

朝日新聞が20日、<旧統一教会側、自民議員に「政策協定」。 数十人規模か>というスクープ記事を報じたことで、エイトさんは、「山が動いた」、とコメントしていました。自民党と統一協会の組織的関係が次々と明るみに出ています。

安倍・すが・岸田政権の、ごうけい11年にわたる、じこう政権で、もりとも学園、あべしんぞう記念しょうがくいん、かけじゅうい学部、桜を見る会、かわいふさい事件などのぎごくが、次々と起こりました。あべしの国会での虚偽答弁は、もりともで、139回、桜を見る会で、118回に及びます。文書のかいざん、いんぺい、ねつぞう、ぎしょう、廃棄もたびたびありました。

あべしは7月8日、やまがみてつやしに、暗殺されました。安倍政権の8年8カ月、すが・岸田政権の2年で、メディアの権力監視機能は衰退してきましたが、あべしの死去いこう、自民党と統一協会の癒着問題を調査報道しています。

2019年、7月9日の参院選で、安倍氏が高松市で、自民候補を応援演説した時、私も取材しました。

たまたま友人と入ったうどん店で、先客でいた安倍氏のすぐそばに、案内されました。

官邸の随行者、警視庁のエスピーも、おしゃべりしながら、うどんを食べていました。

こんなに気の緩んだ警備で大丈夫なのかと、思ったことを覚えています。

安倍氏を近くで見て、やはり、品格も、教養もない、ボンボン、という印象でした。自民党の広報の撮影さんなどがおおぜいいて、近くを、安倍氏の民間広報官だった、あのたさきしろうしが歩いていました。

「紙の爆弾」、6月号で、ウクライナ戦争にじょうじ、ぐんかくを煽る、あべしを政界から永久追放すべきと訴えました。あべしは、「桜を見る会」事件で、東京地検と東京検察審査会で、政治資金規正法違反の被疑者だと、指摘しました。サントリーが、前夜祭に無料でおさけなどを提供した事件は、今年6月10日に告発したばかりでした。

岸田首相は、統一協会とあべしの関係について、「御本人の心の中での判断に基づくものである以上、御本人が亡くなられた今、その実態を、把握することには、限界がある」と、党としての調査を拒否しています。5日に始まった、臨時国会でも同じ答弁です。

しかし、被疑者が死亡しても、刑事手続きは進みます。第5東京検察審査会は、20日、「桜を見る会」の前夜祭の費用を巡る問題で、安倍氏のもと公設、第一秘書・ハイカワひろゆきし、東京事務所の、しせつ秘書、にしやまたけしし について、「ふきそふとう、と議決したと公表。特捜部は、ハイカワしらを、再捜査します。

安倍氏については、「不起訴は相当」、としましたが、「政治的責任がある」と言及。「ふげん」では、安倍氏事務所の一連の処理は、同法の趣旨に照らして不適切だと批判し、「法改正や、厳格な運用などの対策が強く望まれる」と主張しています。

自民党は、あべしに関する調査を、まず「限界」まで実施すべきです。政治家と統一協会との関係を調査するための、政府、国会、民間で専門家を入れた、特別調査委員会を設置すべきです。福島原発事件では、当時、げやしていた自民党の強い要求で、三つの委員会が設置され、それぞれ、報告書が出ています。

やまがみしの母親は、30年前、1億円以上を献金するなどして、やまがみしは統一協会によって、人生を破壊されていました。

直接のきっかけは、あべしが、2021年9月12日に、韓国で開かれた、統一協会系の、てんちゅう平和連合主催の大会で、ビデオで、基調講演したことでした。あべしは、「朝鮮半島統一に向けて努力されてきた、ハン・ハクチャ総裁をはじめ、皆様に、敬意を表します」と、ハン総裁を礼賛していました。

やまがみしは、今年4月、ネットでこの動画を見て、「殺すしかない」と暗殺の決意を固めたといっています。

2017年になつ、あべしは国会で、「私、妻、事務所が、国有地払い下げに関与していれば、首相も議員も辞める」、と断言しました。事務所、つまり秘書らの関与があれば、議員辞職するという約束でした。財務省職員で、自死した、あかぎとしおしは、文書かいざんを強制されましたが、あべ小学校の名誉校長だった昭恵さんの関与を隠蔽するためのかいざんでした。

ハイカワひしょは、東京かんい裁判所から、2020年12月、100万円の罰金刑を受けています。事務所の関与が裁判で確定したのですから、あべしは、そのひに、政界を去るべきでした。

文部科学省が、統一協会の名称変更を、2015年に認めたのはなぜか、自民党の政策と、統一協会が掲げる活動方針は酷似し、自公政権の夫婦別姓、ジェンダー、家族などに関する政策決定に、統一協会の影響はなかったのかなど、疑問は膨らむばかりです。

大東亜戦争を、聖戦と見なしてきた自民党が、第二次大戦で同盟を結んだ、日本、ドイツ、イタリアを、「サタンの勢力」、と位置付け、「韓国を苦しめた日本には罪があり、金銭的な償いや、性的な贖罪が必要」ととく、統一協会と手を結んできたのです。

統一協会は、宗教団体というより、不安産業ともいうべき、悪徳ビジネスを行う、はんきょうよくの、政治セクトです。統一協会は、自民党の党こうりょうが掲げる理念を、完全に否定する集団です。

自民党の各支部と、自民党の議員は、統一協会、しょうきょうれんごうに、壊憲集会を開催させるなどの、「国民運動」をになわせ、選挙運動の動員部隊、じつどう部隊として活用してきたのです。統一協会は、憲法に、戒厳令と同じ、緊急事態条項を入れるべきだとずっと主張しています。

自民党本部、都道府県の事務局スタッフ、自民党の国会議員・地方議員の秘書には統一協会のメンバーが、おおぜいいます。上から下まで、癒着まみれです。

自民党が、政治資金規正法が定める、政治資金管理団体として、公正な活動をしているかの、せいさが必要で。自民党は、2022年度、160億円の、政党交付金を受給します。すべて、税金から出ています。

政党交付金の交付の対象となる、政党としての要件を満たさなくなった場合は、その政党の代表しゃであったものは、原則として、その日の翌日から15にちいないに、解散などのとどけを、総務大臣に届け出なければなりません。

自民党は、政党要件を失っていると、私は思います。岸田総裁は、今すぐ解散とどけを出し、自民党員は、統一協会との距離、政策ごとに分かれて、新しい政党を作って、出直すべきです。

私は、8月27日、新宿駅の西口広場で行われた、こくそうをやめろ市民集会で、宣伝カーに上り、「演説」、しました。9月19日に、東京で開かれた、侵略戦争法の廃止を訴える集会の記事が、9月20日の朝日新聞などにありませんでした。NHKも、隣の公園で開催された集会をニュースにしています。

鈴木エイトさんは、9月25日、たんぼぼ舎の講座で、「あべもとしゅしょうの死で、統一協会と自民党の癒着を、調査報道している。メディアが頑張っている」と述べました。メディアが本来の仕事をしています。

エイトさんは、はじめての単著、自民党の統一教会汚染、追跡さんぜんにち、で、あべしが首相にかえりざいたあと、すが官房長官が参謀になって、統一協会を、2013年の参院選で選挙運動に活用したことで、自民党との癒着が生まれたと書いています。

エイトさんは、あべしが昨年9月に統一協会系の大会で講演したことを、重視します。

あべしが、公然と統一協会を絶賛したことを報道したのは、しんぶん赤旗と雑誌さんしだけで、主要なメディアは、全く報じませんでした。

統一協会の、田中とみひろ会長は、8月10日、日本海外特派員協会での会見で、今後も、はんきょう運動の同志である、自民党の政治家を支援すると、断言しました。

また、てしがわら、ひでゆき本部長は、9月22日の会見で、自民党が、統一協会と決別すると宣言したことについて、「誠に残念なこと」と発言。こくそうについては、「国を挙げて葬儀をすることに賛成だ」と表明しました。また、「今後も、はんきょうの立場で、政治家を支援していく」と述べました。てしがわらしは、10月5日の会見でも、自民党と協力関係を続けると言い切り、20日の会見でも、信者が、同じ政策を持つ政治家を支援するのは、当然だと開き直っています。

自民党と統一協会の関係を、最もよく知っているのは、統一協会です。統一協会は、今後も自民党とともにあゆむ、という姿勢を変えていません。

自民党は、統一協会に、半世紀にわたる癒着の証拠を握られています。

マスメディアの、やまがみしに関する報道も、問題です。

奈良県警は、逮捕の約4時間後に、やまがみしが、特定の団体、に恨みを持っていたと、犯行動機をキシャクラブにリークしました。統一協会だと分かっていたのに、田中会長が7月11日に会見するまで、団体を、かめいにしました。

やまがみしは、7月25日から11月29日まで、鑑定留置ちゅうで、やまがみしの起訴は、早くても年末となります。起訴まえによんかげつも鑑定するのは、政治判断としか思えません。

警察が、組織的にメディアにリークした、やまがみしの、「供述」、では、やまがみしが、あべしと統一協会の関係に関し、「繋がりがあると思い込んだ」、という、捏造になっています。安倍し、さんだいと、協会の親密な関係を知って、あべしを撃った被疑者が、「思い込んでいた」、と供述するはずがなく、これは、捏造です。

私は、奈良県、情報開示条例に基づき、県警が、7月8日から15日までに記者クラブに提供した、広報ぶんの複写を、17枚、入手しました。

開示された文書によると、広報文は、被疑者の逮捕、被害者の死亡、解剖結果と、県警の記者会見の連絡文などでした。

複写は、黒塗りだらけでした。今日、コピーを持ってきましたので、会場で回覧します。

やまがみしの弁護人は3人で、うちふたりは、奈良弁護士会の、刑事弁護委員会に所属するこくせん弁護人、もうひとり、しせん弁護人です。こくせんは、ふるかわまさあき弁護士、こしろさとし弁護士のふたりです。ふたりは、メディアの取材を拒否しています。賢明な判断です。

統一協会は9月29日、テレビ番組で名誉を傷つけられたとして、読売テレビ、TBS、弁護士3人を相手に、総額6600万円の損害賠償などを求める訴えを起こしました。

また、自民党は10月12日、安倍氏を「国賊」と呼んだとされ、国葬を欠席した衆院議員・村上誠一郎元行政改革担当相を一年間の党役職停止処分としました。

さらに、テレビ朝日の「モーニングショー」で、事実誤認の発言をしたとして、玉川徹しが、10日間の謹慎処分を受けました。私は放送を見ていましたが、すがぜん首相の弔辞に電通が関与しているとは直接言っていません。玉川氏は19日、番組に出演し、深く頭を下げ、電通とすがぜん首相に謝罪を表明しました。今後は、ふていきで、出演するようです。一連の動きは、自公政権、電通による、玉川氏をさらしものにする言論弾圧です。

このかんも、自民党の支持率は下がっていません。統一協会の悪事を暴くだけでなく、自民党が、政党として存続していいのかが、今、もっとも重要です。ジャーナリストは、メディアスクラムを組んで、自民党の解党を求めてほしいと願います。

日本には市民革命がなく、人民が主権者である、という考え方が、いまだに定着していないことを自覚し、日本の民主化を、ゼロから始める必要があります。自民党を、解散、解党させることが、その出発点となります。

人民は、統一協会問題の取材報道で、えいさんら、真実を伝えるジャーナリストを支援し、人民とジャーナリスト、政権反対党との、幅広い団結で、自民党を葬り去ろうではありませんか。

以上です。 ご清聴、ありがとうございました。